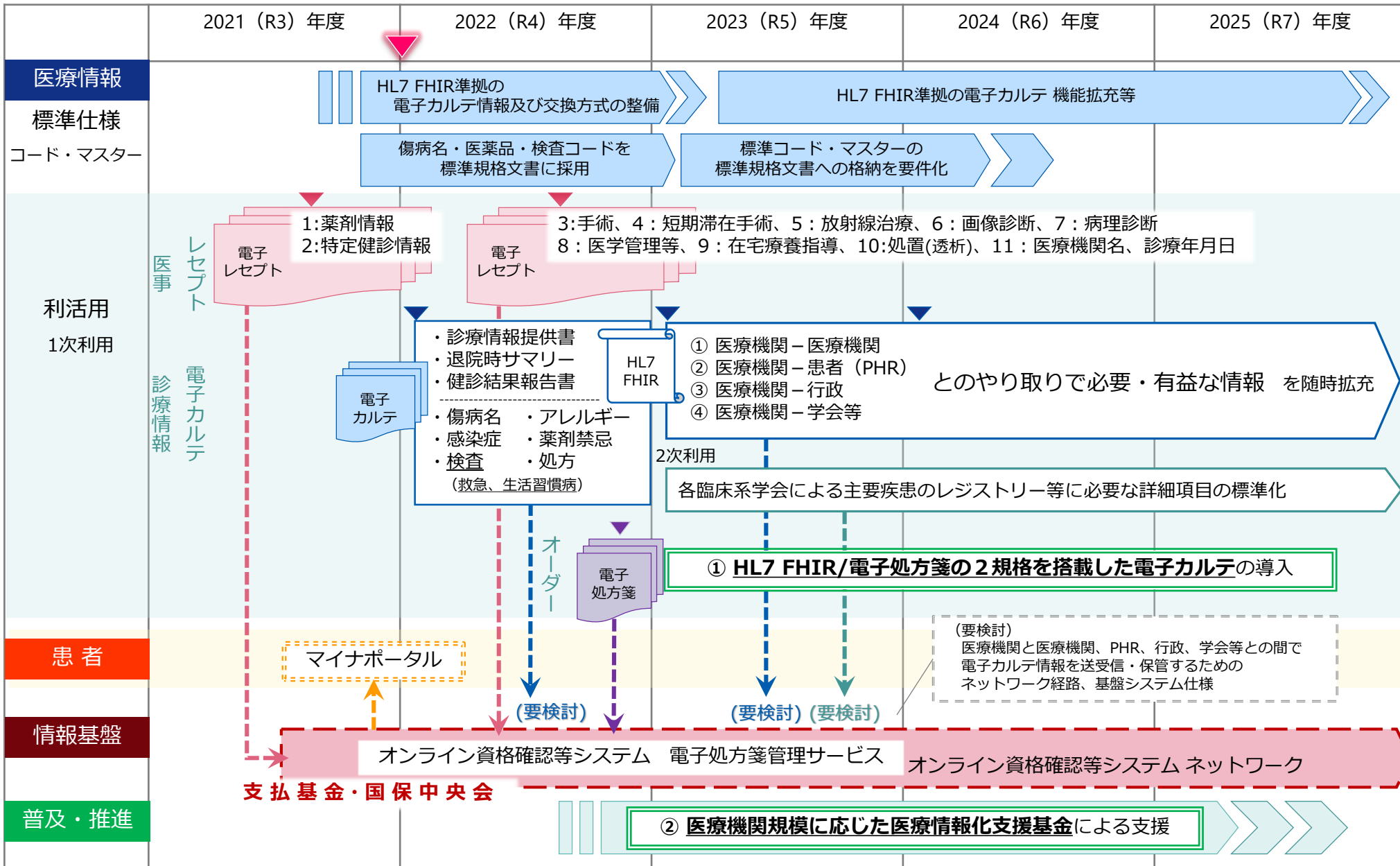


令和 4 年 5 月 17 日

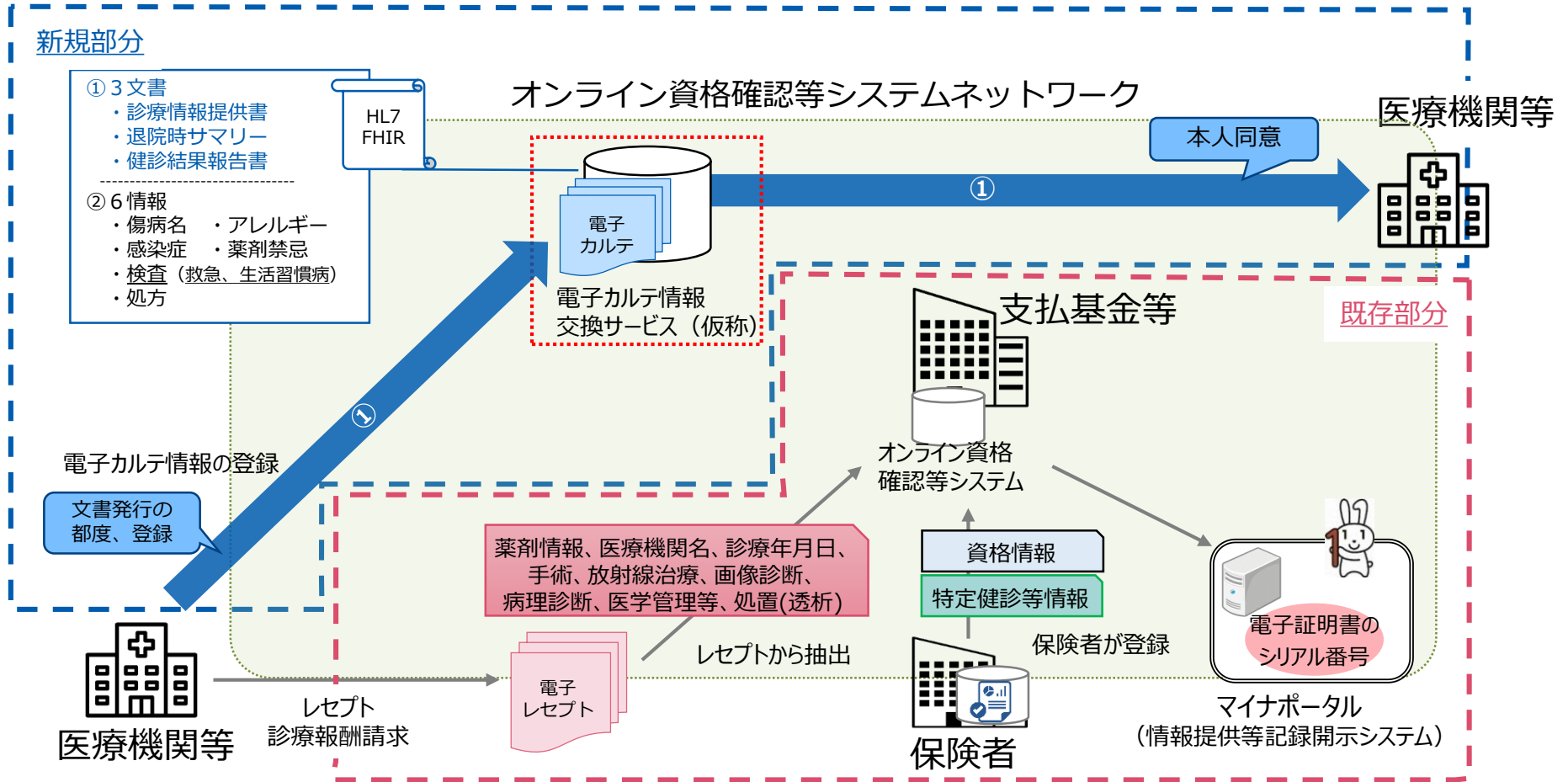
医療情報ネットワークの基盤に関するワーキンググループに おける議論について

電子カルテ情報等の標準化 今後の進め方 (イメージ)



考えられる実装方法（イメージ）

全国的に電子カルテ情報を医療機関等で閲覧可能とするため、以下の実装方法についてどのように考えるか。



① 医療機関等の中でやり取りする3文書情報について、既存のオンライン資格確認等システムのネットワーク上で相手先の医療機関等に送信し、相手先の医療機関等において本人同意の下で同システムに照会・受信できるようにしてはどうか。

送受信方式

全国的に電子カルテ情報を閲覧可能とするための基盤構築に向けた議論の進め方について

現状の課題

- (1) FHIR準拠の文書を共有するための情報基盤の整理
 - ①具体的な仕組み
 - ②基盤の開発・運用主体、運用費用の負担
 - ③ガバメントクラウドの活用 等
- (2) 共有すべき情報の整理
 - ①厚労省標準規格の情報拡充の計画策定
 - ②規格化及びコードの維持管理等の体制整備 等
- (3) 電子カルテの普及
 - ①情報化支援基金の要綱検討

議論する会議体（案）

◆ 健康・医療・介護情報利活用検討会

- ・ 今後上記を検討していくために、下記WGでの検討を指示・了承

【医療等情報利活用WG】

- ・ 厚労省標準規格の情報拡充の計画策定 等

【医療情報ネットワークの基盤に関するWG】

- ・ 情報基盤の具体的な仕組み、ガバメントクラウドの活用
- ・ 規格化及びコードの維持管理等の体制整備
- ・ 情報化支援基金の要綱 等

※なお医療情報ネットワークの基盤に関するWGについては、検討に当たって構成員の見直しを行う

◆ 社会保障審議会

【医療部会】・【医療保険部会】

- ・ 上記議論を報告